

森と水とやすらぎの里”くにがみ”

くにがみそん

国頭村

市町村コード	473014	類型	Ⅱ-0
所在地	〒905-1495 国頭村字辺土名121番地		
T E L	0980-41-2101	F A X	0980-41-5910
ホームページ	http://www.vill.kunigami.okinawa.jp		
指定地域	過疎・辺地・農山村・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉 (令和3年3月31日現在)

村長	ちばな やすし 知 花 靖 任期 R6.4.6 (1期)	副村長	みやぎ あきまさ 宮 城 明 正 任期 R6.12.31 (1期)
副村長	- - 任期 - -	教育長	そのはらみのる 園 原 實 任期 R3.3.31 (2期)

議長	きんじょう としみつ 金 城 利 光	副議長	よぎ かずと 與 儀 一 人
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	10	10	R4.9.27
	常任委員会 総務財政、文教 経済	党派構成 無所属 10	- - - - - - - -

R2.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	113 人	107 人	6 人
人口千人 当たり職員数	24.18 人	22.90 人	1.28 人
各4.1現在	令和2年度	令和元年度	平成30年度
職員数 (普通会計)	107 人	105 人	102 人
類似団体	-	122 (138)	122 (138)
ラス指数	93.3	93.7	93.0

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

村花	サクラツツジ	村木	イタジイ
村鳥	ヤンバルクイナ	村魚	ナンヨウブダイ
名所・旧跡	辺戸岬、茅打ちバンタ、与那覇岳、比地大滝、義本王の墓、大石林山		
祭り、行事	奥鯉のぼりまつり、国頭村まつり、国頭村産業まつり、国頭村文化・福祉まつり、安田シズク、奥間大綱引き、全国パークゴルフ大会、沖縄県小学生駅伝競走大会、国頭トレイルランニング		
名産・特産	おくみどり(緑茶)、タンカン、パイン、国頭イブタ、セーカ(製品)、木炭、木工製品、国頭ツバキ化粧品、からぎ茶		
姉妹都市	鳥取県岩美町(児童交流)		
その他	やんばる国立公園		

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
国頭地区行政事務組合
-
-

〈基地面積〉 (R2.3末)

米国軍	
基地面積	1,446.6 ha
市町村面積に占める割合	7.4%
自衛隊	
基地面積	31.6 ha
市町村面積に占める割合	0.2%
合計	1,478.2 ha
県面積に占める割合	0.65%

〈概要〉

県下 5 位	総面積 R2.10.1	耕地 R2.7.15	宅地 R2.1.1
	194.80 km ²	574 ha	1,013,820 m ²

県下 27 位	住基人口 R2.1.1	H27国調人口	H22国調人口
	4,673 人	4,908 人	5,188 人
年少人口割合	13.2% (県全体 17.5%)		高齢化率 30.4% (県全体 19.6%)

住基世帯数 R2.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
2,323 世帯	2,061 世帯	2,114 世帯

有権者数 R3.3.1	男	女
3,876 人	2,001 人	1,875 人

沿革

明治41年4月1日	村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H24~R3	中長期財政計画	有
基本計画	H24~R3	(10年計画	-)
実施計画	-	(-	-)

〈令和3年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	東部周遊拠点施設整備事業	継続	584
補助	村営奥間団地新築事業	継続	157
補助	スポーツコンベンション観光振興事業	継続	288
単独	新庁舎建設事業	継続	216

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
単独	新庁舎建設事業	H29~R3	1,942
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

〈教育〉 (令和2年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	1園	165人
私立幼稚園	1園	0人
公立小学校	7校	238人
中学校	1校	141人
公立	1校	141人
公立以外	0校	0人

〈医療〉 (令和元年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
公立	0箇所	0床
公立以外	0箇所	0床
診療所	4箇所	0床
公立	3箇所	0床
公立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	6,046	7,134	6,115
歳出総額	5,524	6,822	5,618
形式収支	522	312	497
実質収支	465	232	468
比率	15.3%	7.8%	15.7%
積立金	0	50	80
積立金取崩額	0	0	0
実質単年度収支	134	△ 183	317

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (R元年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	0	48	0
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	3	21	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
簡易水道事業	6	69	43
法非適	-	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適	-	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	655	10.7%
地方譲与税	31	0.5%
地方交付税	2,314	37.8%
普通交付税	2,150	35.2%
特別交付税	164	2.7%
国庫支出金	524	8.6%
県支出金	615	10.1%
地方債	520	8.5%
その他	1,456	23.8%
歳入総額	6,115	100.0%

⑤ 歳出の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	836	14.9%
物件費	1,297	23.1%
扶助費	331	5.9%
補助費等	663	11.8%
公債費	615	10.9%
普通建設事業費	1,319	23.5%
補助事業費	717	12.8%
単独事業費	602	10.7%
その他	557	9.9%
歳出総額	5,618	100.0%

〈産業〉 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	424人	18.8%
第2次	351人	15.5%
第3次	1,486人	65.7%
合計	2,261人	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(R2.4.1)	0箇所	0人
公立	0箇所	0人
公立以外	0箇所	0人
生活保護率(R元年度平均) 人口千人当たり		20.75人

② 村内総生産 (H29年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	2,144	15.8%
水産	48	0.4%
鉱・製造	279	2.1%
建設	2,598	19.1%
電気ガス水道廃棄物	1,052	7.7%
運輸・郵便・通信	132	1.0%
卸売・小売	438	3.2%
金融保険不動産	1,166	8.6%
宿泊・飲食サービス	1,692	12.5%
専門・科学技術支援	263	1.9%
公務・教育	2,332	17.2%
保健衛生社会	882	6.5%
その他サービス	549	4.0%
合計	13,575	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.21	0.21	0.21	27	0.39	0.55	0.33
標準財政規模 a	3,048	2,984	2,988	26	8,519	23,170	3,148
経常収支比率	79.7	87.7	79.7	4	89.6	91.1	86.0
人件費	24.1	26.3	25.2	23	23.6	22.9	25.4
扶助費	3.6	4.4	2.2	11	17.2	20.6	8.5
公債費	19.6	18.7	19.2	36	14.1	14.3	13.3
物件費	13.7	14.8	14.3	12	15.1	14.8	16.1
その他	18.7	23.5	18.8	19	19.6	18.5	22.7
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	6.4	6.5	6.7	18	7.5	8.0	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	23.0	39.9	-
税徴収率	91.4	91.7	94.0	35	0.0	0.0	0.0
現年課税分	97.8	98.3	98.3	27	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	12.1	18.8	29.2	28	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	52	30	34	-	-	-	-
b/a %	1.7	1.0	1.1	-	-	-	-
地方債現在高 c	5,765	6,101	6,033	-	-	-	-
c/a %	189.2	204.5	201.9	29	-	-	-
積立金現在高	2,390	2,535	2,240	-	-	-	-
財政調整基金	273	324	404	-	-	-	-
減債基金	255	255	255	-	-	-	-
その他特目基金	1,862	1,956	1,581	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	131,433	132,874	140,256	31	-	-	-
自主財源比率	23.3	22.2	31.4	24	-	-	-

〈行政の特色〉

森と水とやすらぎの里“くにながみ”を基調とし「自然を愛し活かした、豊かで活力ある村づくり」、「花と緑に包まれた、優しい村づくり」、「きまりを守り、快適で住みよい村づくり」、「夢と希望を育む、教育・文化の光る村づくり」、「水とエネルギーに感謝し、資源を大切にす村づくり」及び「うるおいとやすらぎのある健康で安全な村づくり」を基本目標に具体的施策の実現へ向け取り組んでいる。